

教育、民生常任委員会
報 告 書

令和 5 年 1 2 月 7 日

美 里 町 議 会

教育、民生常任委員会

1. 政策研究に関する事項

「子どもの貧困と食事」

2. 目的

国が平成24年度に実施した「国民生活基礎調査」の結果では、日本の子どもの貧困率は高く、6人に1人が貧困の状況にある。また、美里町においても、平成29年11月に「子どもの生活に関する実態調査」を行い、7人に1人が貧困の状況にあると報告されている。

この調査からすでに6年が経過しており、近年の経済情勢「コロナ禍の行動制限による経済格差の拡大」「ロシアのウクライナ侵攻や急激な円安による物価高騰」などにより、現在、子どもたちが置かれている状況が大変心配される。

子どもの貧困対策先進地においては、貧困対策整備計画が制定され、民間の団体により「子ども食堂」「居場所」などの取り組みが行われている。

よって本町の子どもが貧困による格差なく健康で安心して生活していけるよう調査研究する。

3. 経過

令和5年2月17日	政策研究テーマを「子どもの貧困と食事」に決定
4月4日	政策研究テーマの今後の進め方について協議
4月20日	政策研究テーマについて社会福祉協議会と意見交換
5月11日	1. 意見交換のまとめ 2. 政策研究テーマの今後の進め方について協議
6月1日	所管事務調査についての提案
6月16日	所管事務調査の詳細決定
7月26日～27日	埼玉県富士見市を視察研修
8月3日	所管事務調査まとめ
9月15日	議会懇談会の資料作成
10月27日	政策研究テーマについて担当課（子ども家庭課）との意見交換
11月9日	1. 議会懇談会における町民の意見のまとめ 2. 政策研究テーマのまとめについて
11月21日	政策研究報告書作成
12月7日	政策研究報告書作成

4. まとめ

子ども家庭課と意見交換を行い、町の取り組み状況を確認した。また、美里町社会福祉協議会と意見交換を行い民間の取り組み状況を確認し、子どもの貧困対策への取り組み強化が必要であることを確認した。

視察研修先である埼玉県富士見市では、平成 29 年に全国に先駆け子どもの貧困対策整備計画を策定。また、担当部署に専門職員を配置し民間企業、NPO、自治会などの地域組織や団体と貧困問題を協議する「子ども未来応援ネットワーク会議」を立ち上げ、民間と行政が一体となり、問題解決に取り組んでいる。

これらの町の現状や先進地の取り組み状況を踏まえ、当委員会の研究テーマについて協議検討した結果、すべての子どもたちが、未来に希望を持ち健康で安心して暮らしていけるよう町当局に以下提言し、町の政策・第三期子ども・子育て支援事業計画に反映するよう強く要望する。

記

1. 町が中心となり、子ども家庭課、健康福祉課、教育総務課、美里町社会福祉協議会、民間企業、NPO、ボランティア団体などによる連絡協議会を設置しネットワーク体制を構築すること。
2. 子ども支援団体の育成、活動補助に取り組むこと。
3. 見えにくい子どもの貧困に対する理解を深め、困っている子どもの支援につなげるため、気づきつなぐためのマニュアルを作成し、保育・教育機関に配布すること。
4. 町民の理解・協力を得るため町のイベントに子どもの貧困に関するブースを設けるなど啓蒙啓発活動を行うこと。